

シリーズ〈訪問インタビュー〉

同・窓・生・N・O・W

聞き手=藤崎 理加

松岡 哲也 氏

高32期 地主株式会社
代表取締役会長 CEO



土地のみに投資してそれを貸すという独自の不動産ビジネスで、起業14年で東証一部上場（4月からプライム市場）を果たした松岡哲也さん。地主株式会社（旧社名日本商業開発株式会社）の新卒初任給は月額50万円、住宅手当月額10万円の計60万円。従業員平均年収1694万円。成果報酬制で年功序列や男女差がなく、ワークライフバランスも取れた会社は、松岡さんの「こんな会社があったら良いな」という思いから創業された。

サッカーに明け暮れた高校時代、ご本人いわく、ちゃらちゃらしていた大学時代、マスコミ志望が叶わず、仕方なく入社した不動産開発会社での苦い経験から、それまでになかったビジネスを立ちあげた松岡さんにお話を伺った。

「イエスタディ級の思いつき」

藤崎 ご無沙汰しております。大学卒業以来、35年ぶりにお会いするので、大変緊張しております。

松岡 ほんとに久しぶり。そんなに緊張するタイプだったっけ？（笑）。

藤崎 はい、昔は傍若無人ただけで…。インタビュー自体も20年ぶりですので、どうかよろしくお願いたします。まずは、現社名でもあるJINUSHIビジネスとは、どんなお仕事かをお教えください。

松岡 土地を買って、その土地を貸し、建物はテナントに建ててもらって、借地料だけいただきます。自らは建物を建てず、所有もしない。地主に徹したビジネスです。経年劣化する建物を所有しないので、修繕や改装などの追加投資がいりません。事業用定期借地権を活用して、土地を貸す契約期間は20～30年となるので、長期に安定した収益が見込めます。契約終了後は更地で返されるため、資産価値が下がりにくいのも特徴ですね。これを思いついた時は、ポール・マッカートニーが「イエスタデイ」を作曲した時みたいでした（笑）。こんな素敵なお曲、誰かの盗作なんじゃない？って。

藤崎 そんなエピソードがあるんですか？

松岡 無名のスタンダード曲かと

思っ、周囲の人に聞いてまわったらしいよ。私もJINUSHIビジネスを思いついた時、昔からある当たり前の方法なのに、誰もやっていないのかと思いました。

藤崎 どんな経緯で思いつかれたのでしょうか？

松岡 それまでの不動産賃貸業は、不動産会社が土地を買う、あるいは借りて建物を建て、テナントに貸す。土地と建物がセットでした。90年代後半かな、兼松都市開発会社時代、私も何の疑いも持たず、5000坪の土地を借り、建物を建てて、マイカルという総合スーパーと賃貸借契約を結びました。当初は順調でしたが、マイカルが経営不振になって倒産したんです。立地が良かったので次のテナントである平和堂は入りましたが、建物の改装費用や賃料の大幅な減額が条件でした。この時、劣化する建物を所有するのはリスクだと実感しました。

じゃあ、土地だけを購入し、その土地を貸して、テナントに建物を作ってもらえばどうかと。そうすると事業リスクが大幅に減少し、採算も悪くならない。こちらの方が安全確実なのに、どこの不動産会社もやっていない。

藤崎 なぜですか？

松岡 誰も今までやっていなかったんで、やろうとする人間がいなかったんでしょうね、多分。

藤崎 それで、自分でその方法を実行するために起業された。

松岡 いえ、会社都合の解雇の結果の独立がきっかけでした。バブル崩壊後の90年代後半は大手の金融機関や企業が潰れたりして、景気が悪かったでしょ。私がいた兼松都市開発も親会社の兼松が総合商社をやめて、不動産部門がなくなることになった。それで独立して、2000年に日本商業開発株式会社を設立しました。

藤崎 景気が悪い時に起業って、不安はありませんでしたか？

松岡 何故か無かったですね。周囲からは、前途多難だと言われることもありました。どう考えてもこのJINUSHIビジネスは、うまくいくに決まってるかと呑気に思っていました。

藤崎 景気が悪い時に起業って、不安はありませんでしたか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

松岡 それ、真面目に言ってます？論理的に考えても、サッカー選手になるより、東証一部の社長になる方がずっと簡単ですよ。まあ私の場合、身近な人が起業していて、だったら自分もできるというのもありました。

「突破のきっかけ」

藤崎 では、会社は最初から順調だった。

松岡 独立してしばらくは、兼松都市開発から引き継いだ商業施設開発の仕事をしていました。やっていた仕事特殊だったので、兼松都市開発としても急にそれをやめられては困るから「松岡君、独立するんだったらこの仕事持つていって」と。それはとてもラッキーでした。それに最初からJINUSHIビジネスと言っても、銀行はお金を貸してくれませんしね。実際、何度も事業計画を持って話に行ったけど、すべて断られました。

藤崎 安全確実な方法なのに？

松岡 銀行の土地の評価がね、おかしかったんです。92年に定期借地権制度ができて、貸した土地は必ず更地で返ってくるの、それまでの一度貸したら返還されにくい普通借地権と、同様に評価している。何度説明しても、ダメでした。その評価が慣例だからと。前例主義ですね。

藤崎 どうやってその状況を突破されたのですか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

松岡 それ、真面目に言ってます？論理的に考えても、サッカー選手になるより、東証一部の社長になる方がずっと簡単ですよ。まあ私の場合、身近な人が起業していて、だったら自分もできるというのもありました。

藤崎 どうやってその状況を突破されたのですか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

松岡 それ、真面目に言ってます？論理的に考えても、サッカー選手になるより、東証一部の社長になる方がずっと簡単ですよ。まあ私の場合、身近な人が起業していて、だったら自分もできるというのもありました。

藤崎 どうやってその状況を突破されたのですか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

松岡 それ、真面目に言ってます？論理的に考えても、サッカー選手になるより、東証一部の社長になる方がずっと簡単ですよ。まあ私の場合、身近な人が起業していて、だったら自分もできるというのもありました。

藤崎 どうやってその状況を突破されたのですか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

松岡 それ、真面目に言ってます？論理的に考えても、サッカー選手になるより、東証一部の社長になる方がずっと簡単ですよ。まあ私の場合、身近な人が起業していて、だったら自分もできるというのもありました。

藤崎 どうやってその状況を突破されたのですか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

松岡 それ、真面目に言ってます？論理的に考えても、サッカー選手になるより、東証一部の社長になる方がずっと簡単ですよ。まあ私の場合、身近な人が起業していて、だったら自分もできるというのもありました。

藤崎 どうやってその状況を突破されたのですか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

松岡 ポジティブというより、私はリアリスト。ちゃんと分析して勝算がありました。それに、誰かがやってるんだから自分がやってもおかしくないって、思いませんか？私が、トム・クルーズやサッカー選手や歌舞伎役者の代わりはできない。それだけのルックスや才能や血筋がないから。でも、会社経営は多くの人ができるんだから自分もできるって、思っていました。今でもそうです。

藤崎 そう思えることが、松岡さんの強さかと。私は、会社経営も大変な能力が必要だし、失敗したら怖いから自分にはできない、とってしまいます。

松岡 それ、真面目に言ってます？論理的に考えても、サッカー選手になるより、東証一部の社長になる方がずっと簡単ですよ。まあ私の場合、身近な人が起業していて、だったら自分もできるというのもありました。

藤崎 どうやってその状況を突破されたのですか？

松岡 銀行がダメなら、不動産鑑定会社の最大手にセールスに行きました。独立系の最大手の不動産会社社長と一緒に説明に

行ったんですが、鑑定会社の取

縮役もさっぱりわかっていない。こんなに、あたり前のことなのに？！

一志望に受かったことなんてほぼありません。

藤崎 自由な校風が良かったから、とかではなく。

松岡 ややとんがってる校風だ、という話を親がしていたような記憶はありますが、実家が住高のそばだったこともあり、近過ぎてあこがれみたいなものは全然なかったですね。

藤崎 入ってからの印象はいかがでしたか？

松岡 これは、同じことをみんな思うんですが、入学してからすぐにクラスメイトのことを「あ、大人や」と。思わなかった？

藤崎 思いました。生徒がみんな大人で、すごく楽でした。

松岡 1年の時の担任が、ラグビー部の顧問の井上哲夫先生だったんですが、井上先生がまたクールで。いい意味で、おまえらの生き方なんて知らんから勝手にやれ、みたいで。そういう感じも心地よかったです。

藤崎 井上先生、懐かしいです。ラグビー部のマネージャーだったので、井上先生にはとてもお世話になりました。お若くして亡くなられたんですね、残念です…。

松岡 私たちにはクールなんだけど、ラグビーには熱かったよね。井上先生に限らず、先生方みんなが大人扱いしてくれた。大学生で大人扱いはあたり前だけど、中3から高校生になって2ヵ月で、もうミナミで追い出しコンバしてお酒飲んでタバコ吸ってるって、カルチャーショックだったけど、楽しかった。当時の私はお酒飲めなくて、吐いてただけけど(笑)、あの体験は大きかったな。飲んでグダグダになってアホなことしてるんやけど、本当にダメなことはいらない。大人で、面白くて、ある程度頭が良くて。みんながそうだったから、生きやすかった。気楽で、普通にしゃべれて、居心地が良かったな。

藤崎 ほんとにそうで、私も住高に入って一気に楽になりました。いじめとかも、全くなって。

松岡 ないなあ。そんなことしたら、軽蔑されるから。**藤崎** 私はすごく成績悪かったんですけど、そのことで先生や周囲に蔑まれるようなこと一度もなかったです。先生方、悲しそうに心配してくださった(苦笑)。**松岡** そういうこと言わないよね、生徒も先生も。私も成績悪

かったけど、言われたことないな。それでも、私より下の成績が30人くらいいた。

藤崎 私は高3の時の実力テストが、564人中560番で…。

松岡 え、それは、すごいな!狙ってもなかなかとられへん(笑)。

藤崎 はあ。衝撃的でした。全く勉強しなかったとはいえ…。

松岡 私は、50番以内に入ってる友だちって多分いなかったわ。

藤崎 私もたぶんいないです(笑)。質問に戻りますが、高校時代で一番思い出に残っていることは何ですか？

松岡 「これ!」って切り取ったようなことじゃなくて、何気ないことの方が心に残っていますね。雨が降っていた時に校内のどこかを歩いていたとか、教室やクラブでしていたどうでもいいような会話とか。しいて挙げるなら、修学旅行で福島県の猪苗代湖に行った時に、バスの中で盛り上がった歌合戦。あるグループがやり始めると、クラス全員がそれぞれ勝手に歌い出してね。えっ、こんな真面目な子も歌うの?って思った。彼女は中村雅俊の「ふれあい」を歌ってたなあ。

藤崎 松岡さんは何を？

松岡 世良公則の「宿無し」。♪オイラは宿無し オマエーには～♪

藤崎 世良公則、流行ってました!部活はサッカー部ですね。

松岡 小学生の頃に見ていたサッカー番組の影響で、サッカーをしたくてしやがらなかったんだけど、中学にサッカー部がなくてね。高校で、やっとサッカーができる!と入部しました。同期で40人くらい入ったけど、練習がきつくて夏休み後には十数人、2年に上がる頃には6人に減りましたね。高校時代は下手だったけど、サッカー三昧。引退する3年生の5月まで、ひたすらボールを追いかけっていました。

藤崎 引退後は受験勉強を。

松岡 いや、帝塚山の喫茶店でタバコ吸ってインベーダーゲームをしました(笑)。私ね、高校生って勉強しなくていいって思ってたんです。そう思う事自体が、おかしいんだけど。サッカーだけやってたらええんちゃう、と。大学入試なんて最後に帳尻合わせた心配してくださった(苦笑)。**松岡** そういうこと言わないよね、生徒も先生も。私も成績悪



勉強しないことに、何ら罪悪感も恐れもなかった。で、高3の12月になって赤本見たら、何にもわからない。全然できない。それも、まあそんなものかと、普通に浪人しました。

藤崎 同じような考えで、私も浪人しました(笑)。

「生まれ変わるなら…」

藤崎 1浪された後、同志社大学の商学部へ。

松岡 2浪(笑)。

藤崎 2浪目って不安じゃなかったですか？

松岡 不安でしたね。起業の時より、大学受験の方が不安でした。アイデアが良くて、みんなの信頼を得るような商品は、工夫すれば必ず売れる。でも受験は、他人と同じような内容のことをイヤでも自分が努力しなければならぬから。こんな好きじゃないことをやらなあかんのかな、と思いつつ仕方なく細々と受験勉強していました。本当は大学でもサッカーしたかったから、サッカー部があんまり強くない国立に行きたかった。同志社のサッカー部は強過ぎて、レギュラーになれない。なので、入部しませんでした。

藤崎 1年遅れて私も同志社に入っています。なんとなく松岡さんのことは存じ上げていました。それで、松岡さんが当時アルバイトなさっていた大阪・ミナミのアメリカ村の喫茶店で、私にも紹介して下さいました。あ、京都の学術書の出版社だけ受かったな。一緒に働くことはなかったのですが、時々お店でお会いする松岡さんは、いつもすごくおしゃべりで、華やかで、楽しそうでした。

松岡 大学時代は楽しかったわ。バイトして、テニスして、大して

お金もないくせに見栄張ってイタリ

アブランドの洋服を着て、白のブレリユードに乗ってデートして。時代背景もあるけど、自らすんてちゃらちゃらと、ミーハーな学生生活を送っていました。

藤崎 確かにちゃらちゃらはしてらしたんですけど(笑)、読書家で、音楽や映画やアートにもお詳しくだったのですが、ある時、松岡さんが谷崎潤一郎の「細雪」の感想を話されていて。谷崎の文章の力を言葉豊かに話されていて、とても印象に残っています。

松岡 本は好きで、小説家になりたかった時期もあります。でも村上龍を読んで、自分の才能の限界を知らされた。これ以上、刺激的な小説を書くのはちょっと無理かなと。完全に影響されて、それ以来ずっと村上龍のファン。音楽では山下達郎と角松敏生。生まれ変わるなら、この3人の誰か。福山雅治ではなく山下達郎。顔より才能だなあ。福山は才能もあるけどね。

藤崎 私も福山より山下派です。就職活動は、最初はマスコミ志望でいらしたんですね。

松岡 最初から最後までマスコミ志望。雑誌の「POPEYE」を愛読していたからマガジンハウスや他の出版社を受け、ドラマの「ふぞろいの林檎たち」に感化されてTBSをはじめテレビ局にエントリーし、電通、博報堂も受けた。いいところまでいくんだけど、結局、全部落ちました。あ、京都の学術書の出版社だけ受かったな。でも学術書では、私のイメージしているマスコミとは程遠くお断りしました。

藤崎 そこから不動産業界を選ばれたのはなぜですか？

松岡 さすがに親が心配して「こんな会社あるぞ」と見せてくれた

のが、兼松都市開発。

藤崎 親御さんが。でも、それだけマスコミ志望だったのに、不動産業界で働くことに違和感はなかったですか？

松岡 それはありました。

「POPEYE」の編集者として、ロケハンしたり、スタジオでモデル撮影したり、記事書いたり。夜中まで働いて、昼頃出社するって遊び人イメージだったのに、不動産会社の普通のサラリーマンになったんだから。最初は分譲マンション担当で、次に資材でした。見積もり書いて届けて、交渉して、工事して。でも、仕事ってやれば何でも面白くなってくるから。資材の仕事は仕事で、楽しく働いていました。私の場合、仕事自体が嫌でくさる、っていうことはなかったですね。

藤崎 松岡さんは、どんな状況でも楽しめるというか、楽しむ才能をもっていらっしゃるんですね。

松岡 私もイライラしていた時期がありますよ。20代後半から30歳くらい、世の中がバブルの頃。自分にはバブルの恩恵なんて何も無いのに、一部の大人が浮かれてて。何より、あの時代の雰囲気嫌いでした。だから今でも、プリプリとか米米とかユーロビートの音楽を聞くと、あの頃の焦燥感を思い出す。♪ダイヤモンドだね～♪とか流れると、イラつくなあ。この感覚、同世代にもあんまり共感されないんだけど(笑)。30を過ぎて少し落ち着いて、仕事もおもしろかったんだけど、先程話した経緯で起業しました。

「高額寄付の理由」

藤崎 住高創立100周年記念では、1000万円の寄付してくださいました。

松岡 人生っていろんなところに所属するでしょう、学校や会社やクラブや地域。私の場合、一番所属意識の強いのが、住吉高校です。

藤崎 私もです!

松岡 多いよね、そういう卒業生。小学校も中学もよかったけど、やっぱり住高かなあって。なので、寄付は絶対せなあかんという義務感があって。1000万円しかしてないんだけど。

藤崎 いやいやいや、大変な金額です。

松岡 高校がたぶん一番楽しか

ったんやろうな。20年くらい前かな、住高の同級生5人で帝塚山のロイヤルホストに行って、すっごいくだらないことで笑いが止まらなくらい笑い転げて。40過ぎた大人5人がよ。で、「今みたいな笑って、この数年間でしたことある?」って聞いたら、やっぱり全員ない。笑いはするけど、どうでもいいことでこんなに素っ頓狂には笑わないって。それは住高の友達だからで、大学の友達では起きない。同じように、住高同士だとくだらないことで、馬鹿笑いでできる。

藤崎 似たような経験を、私も含めて多くの卒業生がしていると思います。

松岡 そう言ってくれると嬉しいわ。だから、寄付する。卒業してから、あんまり住高行ってないでしょ？

藤崎 行ってないです。

松岡 私はサッカー部のOB会があるから毎年行ってただけど、ずっと後輩を見ていると、やっぱりどこか自分たちと似てるんだよね。ホワンとしていて、人が良くて、適度に賢いんだけど、飛びぬけて優秀ってわけじゃない(笑)。だから、40歳下の後輩とも気楽に話せる。

藤崎 そうなんです。私は東京在住なので、東京同窓会の方と話す機会が多いのですが、年齢全く関係なく、初対面でもすごく話しやすいです。そして、皆さんなんか面白い。男女問わず、功績のある大先輩でも後輩でも、皆さん個性的で話していて楽しいです。最後に、現役の住高生にアドバイスをください。

松岡 ないです。

藤崎 えー?!

松岡 後輩だけど、君たちの人生は、私の知ったことじゃないです(笑)。でも言えるとしたら「精いっぱい、楽しんで」くらいかな。10代前半から20代前半の環境や影響を受けたものって、大きい。後々になってもずっと残っていて、知らないうちに自分の核になっている。少なくとも私はそう。住高の空気感というか、住高なるものが、こんなに長く自分の中に残っているなんて、思ってもみなかった。知ったことじゃないけど、せいぜい楽しんでください(笑)。

藤崎 松岡さんらしいアドバイスですね。本日はありがとうございました。**松岡** 高校がたぶん一番楽しか

編集後記

まさかこんな形で、35年ぶりに松岡さんにお会いするとは。ご活躍は存じて上げていたが、特別親しかったというわけではないので、インタビューが私で良いのかと、すっと落ち着かなかった。

当日の朝、すでに緊張しながら、新横浜駅から地主株式会社本社のある大阪・淀屋橋に向かった。新幹線の車内で質問内容を確認していて、ふと窓の外を見ると「東京駅〜」。ええっ、私逆方向に乗ったの!? 間に合う!?

幸い2時間余裕をみて出たので、何とか間に合いました。それくらい緊張していた私を、大阪の街を眺望する広々と洗練されたオフィスで迎えてくださった松岡さんは、あの頃と全く変わっておられなかった。本当におしゃれで、華やかで、楽しそうで。インタビューを始めるものの、懐かしい話になると脱線につく脱線、また脱線。誠に失礼いたしました。

同社には、住高41期・林幸子さんと46期・源拓也さんもういらっしゃって、終了後はインタビュー組も含めて総勢6人の卒業生で焼肉をいただきながらの歓談(コロナの休期間でした)。

♪葛城の～山～♪と松岡さんが歌い出すと♪ほの～ほのと～♪間髪入れず合唱に。なぜだか全員ちゃんと歌詞を覚えている。会社での松岡さんはどんな感じですか?と社員のお二人に尋ねると、「このまんまで」。

その後も、松岡さんがお好きな本や映画やアートや音楽(歌付き)の話で、よくしゃべり、よく笑い、そうそうこれこれ、この感じ!これが住高!とうなずき合った。「15歳から、考えていることはあんまり変わっていない。環境が変わっただけ」と松岡さんは言う。そうだと思う。変わらないことが、松岡さんのスケールをより大きくしたのかな。深々と楽しい時間を、ありがとうございました。

松岡 哲也 <略歴>

地主株式会社
代表取締役会長 CEO
住高32期(サッカー部)

1961年 大阪府で生まれる
1986年 同志社大学商学部卒業
1986年 兼松都市開発株式会社入社
2000年 日本商業開発株式会社設立(現 地主株式会社)

<インタビューアー> 紹介



藤崎 理加

住高34期。
ラグビー部マネージャー。
同志社大学卒業後、産経新聞大阪本社に入社。社会部、文化部記者を経て退社。

その後、フリーのライターとして、料理、映画、インタビュー記事を新聞、雑誌で担当。

NHKで古館伊知郎氏司会の「クイズ日本人の質問」、池上彰氏の「週刊こどもニュース」のリサーチャーを務める。

企画：平田裕昭(高32期)

撮影：杉原なお子(高31期)

校正：高市純行(高36期)

オーラルケアから
トータルヘルスへ

ヘルスケアの人材育成
一般社団法人
健康歯科協会

ヘルステック
You CARE.

医療法人
三優会

住高33期 岡本 暁